

便衣隊に過ぎないのだ、而して僅か一ヶ月後の今日では、穀穀の風に吹き飛ぶが如く其の影すら消えんとして居る有様である、尙次々に形が變つて便衣隊ヲアツシヨが發生しつつあるのである、以上の状態より靜かに吾國労働運動を概観するに、之は取りも直さず健全なる労働組合主義の勝利と云ひ得ると思ふ。

總同盟は二十二年以前の友愛會の昔より、終始一貫労働組合主義を以て信條とし現實を離れた運動の爲には組合分裂の大犠牲さへ繰返し拂つて來て居るのだ、

更に九州に於ける労働運動を見る時に過去に於ては全く賽の河原の石こずみを繰返して居たのである。實に困難中の困難と云われて居た、此の北九州に於て、今吾組合の堅壘の基礎は漸く築かれたのである、然し乍らほんとの運動は之からである、さしにも煩迷なりし資本家も近來開明化しつつある傾向の時である無意味なる闘争激發主義は謹しまなければならぬ。

惟ふに吾國の労働組合は、後進國の特殊事情により、著しく思想團體及政治團體的色彩を濃厚にしたるも、由來労働組合は理論より生れず、又單なる政治的手段にもあらず、労働者の慘苦なる日常生活の改善向上を計りやがて、之を解放に導かんとする自主的相互組織である、故に日常に於て協同の訓練を練り識見、技術徳性の向上を計り強固なる團結の威力に依り、資本主義の搾取に對する闘争的任務、相互保險制度に依る共濟的任務の融合統一を計らねばならぬ、是の如く統制秩序を保ち以て、産業の構成たる資本と協力しなければならぬ、統制秩序なき未組織の所や御用組合のある所には、極左、極右の侵入の隙を作るものである、眞の産業平和を期するには健全なる自主的組合を強力にし尙、組合自から責任を感じ、只資本家のみならずの責任を求めてもならぬ、かくする事に依り、總同盟の根本方針たる團體協約も獲得し能ふものと信ずるのである、目下吾セメント門司工場の秩序は、御用組合庚午會の内紛以來殊に亂れに亂れて居る状態である、之を統制指導する任務は先覺者たる組合員同志の重大なる責任である、故に感情に取られず無益なる闘争

を防止し以て、虚偽を排し眞の産業平和と、社會進化を合理化する爲に同志諸君には、一層の奮勵健闘を希ふ次第である。

一言簡單に一般状態の挨拶とす。

行政報告

昭和七、一〇、七、第一回執行委員會 出席者十八名

- 一、執行委員長互選 委員長 越智克己
- 二、班長選任 園田岩太郎以下二十五名ヲ任ズ
- 三、大會ノ決議案中、解雇退職手當促進ニ關スル件
ヲ切離シテ他ノ件ヲ會社當局ト接シスル事
接洽委員 白木、清末、越智、山本(鶴)
- 四、九聯大會提出議案研究
- 五、解雇、退職手當ニ關スル件ハ伊藤會長ヲ通ジ
八幡署長山路虎夫氏ニ促進方ヲ交渉スル事
- 六、九聯執行委員 拾名ヲ詮衡
- 七、庚午會共同闘争委員會ノ報告 越智

接洽委員 白木、清末、越智、山本(鶴)
井村、瀧口、帆足、以上七名